



知識、技術、瞬発力！ 世界に通用する麻酔科医を育成する

帝京大学医学部 麻酔科学講座

澤村 成史 教授

【社会的意義】当院は東京都で最も医療密度が薄いエリアをカバーしており、一般的な三次救急に加え周産期医療ネットワーク、CCUネットワーク、脳卒中急性期なども含めた救急搬送患者を積極的に受け入れて地域の医療的防波堤として使命感を持って診療に当たっています。

【教育・研修特徴】当科でトレーニングを受けたスタッフが、将来全国での医療領域でも活躍できることを教育目標にしています。活発な救急患者受け入れを背景として多彩な症例が集まるため、瞬発力のある臨床能力の形成に適した環境です。2014年度の麻酔科管理症例は7095症例、うち胸部外科228症例、心臓外科419症例、帝王切開234症例、脳神経外科271症例であり、臓器機能障害を合併した重症例及び本院の特質である緊急手術も多く、豊富な症例から日々生じる臨床的問題点や知見について、スタッフによるレクチャーや検討会が行われております。

伝統的に安全管理を重視しており、各手技、症例管理、手術室運用において、アップデートが繰り返されてきています。「速やか、かつ高い安全性の管理」を追求しており、一例として現研修医には超音波を用いた方法が標準化され中心静脈穿刺、末梢神経ブロック、動脈ライン留置など各穿刺手技について



合併症を回避しながら遅滞なく行うための方法論が日々積み重ねられています。また、全症例徹底した術後回診を行い、麻酔の質を評価し、データは以降の麻酔管理のためにフィードバックして蓄積されています。

当院には5種のICUがあり、麻酔科ではGeneral ICUを担当しております。術後管理及び病棟で管理困難な内科系疾患を受け入れ、術後経過や重症内科疾患に関わることで、手術室では経験しにくい管理上の視点や知見が養われています。

ペインクリニックは、専従のペインクリニシャンが担当し、各種の神経ブロック・投薬、針、漢方及び理学療法による治療や、疼痛管理が得意な科のコンサルトを受け、ペインサービスを提供しています。専門研修中に最低2ヶ月のローテーションを行い専門医試験へ対応できるようにしています。

【医局の特徴】さまざまな出身大学者が在籍しており、海外留学経験があるスタッフも多く、個々の志向は多様です。海外へのアクセスを維持しており希望者には臨床及び研究留学の機会について



で最大限のバックアップを行っています。

麻酔科教育には十分時間が割けるよう、医局を挙げて工夫をしています。教育に関するソフト・ハード両面の充実を図るとともに、実務での疲弊を防ぎ充実した勉強ができるよう、時間外残り番制、当直回数の制限など、みんなで助け合いながら自由時間の確保をしています。また病院全体としても麻酔科のアクティビティについて好意的に受け取られており、他科との良好な関係が形成されています。

文責：柿沼 玲史

DATA

帝京大学医学部麻酔科学講座

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

<http://www.teikyo-masui.jp/>

mail@teikyo-masui.jp

構成：医局員数／38人、指導医数／18人、研修医数／16人